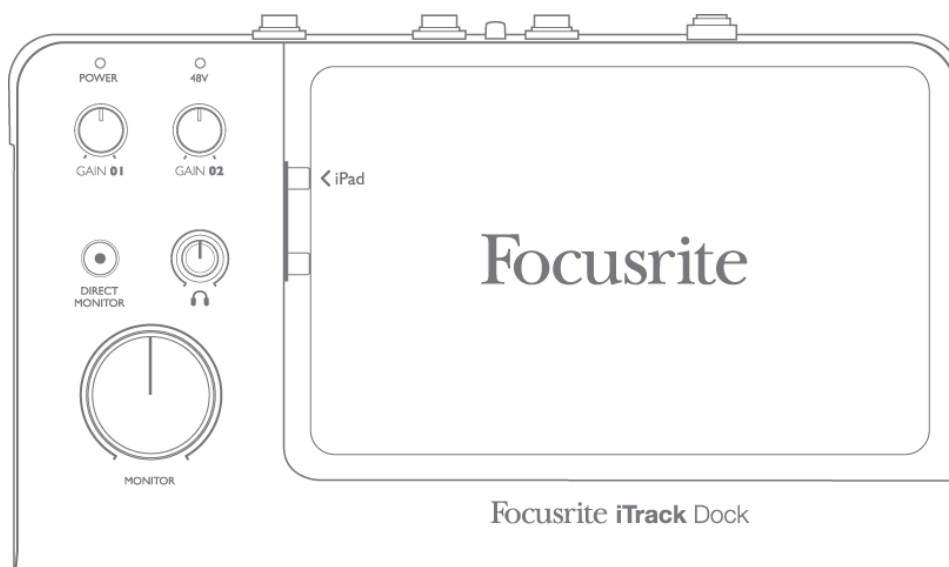



iTrack Dock

ユーザーガイド



安全に関する重要な注意事項

1. 指示を読み通してください。
2. 指示を遵守してください。
3. 全ての警告に注意を払ってください。
4. 全ての指示に従ってください。
5. 水のある場所では使用しないでください。
6. 乾いた布でのみ掃除を行ってください。
7. 機器の通気口を塞がないようにしてください。製造元の説明書に従って本体を取り付けてください。
8. ラジエーター、ストーブなど熱を発生する機器（アンプを含む）などの近くに置かないでください。
9. 極性または接地タイプを遵守してください。極性プラグには二種類のブレードが備わっており、一方の幅はもう一方よりも広がっています。接地タイプのプラグには、二つのブレードとアース端子が備わっています。幅の広い方のブレードとアース端子は、安全を確保するために備わっています。付属のプラグがコンセントに合わない場合は専門家の指示に従い、適切なプラグを使用してください。
10. 電源コードを踏んでしまったり、プラグ、コンセント等が本体に挟まれないよう注意してください。
11. 製造元が指定する取付具または付属品のみを使用するようにしてください。
12.  製造元が指定する、または付属のカート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルのみを使用するようにしてください。カートを使用する際は、カートと機器の結合部を動かす際に本製品を落下させないように注意してください。
13. 雷雨が発生した場合、また機器を長時間使用しない場合には電源コードを抜いておくようにしてください。
14. 全ての整備作業に関しては、正規の整備担当者に依頼するようにしてください。電源コードやプラグの破損や本体に液体をこぼしてしまった場合、また本製品を落下させてしまった場合、雨や湿気にさらしてしまった場合、機器が正常に動作しない場合など、機器が何らかの損傷を受けた場合整備が必要になります。
15. ろうそくなどの火気を本体に近づけないでください。

本機器用カブラーは、遮断機器として使用します。遮断機器はすぐに作動できる状態にしておいてください。

破損したり、傷のついている電源コードは使用しないでください。

本機器の主電源プラグがヒューズを内蔵している場合、定格電流が同じかより低いヒューズのみと交換するようにしてください。

本製品はアースによる保護機能を備えた電源コンセントに接続する必要があります。



注意：感電を防ぐため、カバー（または背面）を取り外さないでください。ユーザーによって修理を行えるパーツはありません。修理については、必ず正規のサービス担当者までお問い合わせください。



矢印がついた稲妻を記されている正三角形のアイコンは、機器の内部に感電を引き起こしうる強さの、絶縁されていない「危険な電圧」が存在することをユーザーに警告することを目的としています。



エクスクラメーションマークが記されている正三角形のアイコンは、重要な操作およびメンテナンス（修理）の説明が明示されていることを、ユーザーに警告することを目的としています。

警告：火災や感電を防ぐため、本体を雨や湿気に晒さないようにしてください。また、花瓶など液体の入った物体を本体の上に置かないでください。

環境宣言

コンプライアンス情報声明：コンプライアンス手順宣言

製品識別： Focusrite iTrack Dock
責任者： American Music and Sound
所在地： 4325 Executive Drive
Suite 300
Southaven
MS 38672
電話番号： 800-431-2609

本機器は FCC 規格の 15 条に準拠しています。本機器の操作には以下の二つの条件が前提となっています：(1) 本機器が有害な干渉を引き起こさないこと (2) 本機器は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、外部より発生したいかなる干渉をも受け入れること。

米国向け

ユーザー各位：

1. **本製品の改造は絶対に行わないでください。** 本製品は、本マニュアルに記載されている指示に従って設置することで、FCC の要件を満たします。Focusrite によって明示的に承認されていない改造を行うと、FCC から付与されたこの製品の使用权が無効となる可能性があります。

2. **重要:** 本製品は、高品質シールド付きケーブルを使用して他の機器と接続する場合の FCC 規制を満たしています。高品質シールド付きケーブルの使用、または本マニュアルの設置手順に従わない場合、ラジオやテレビなどの機器に磁気的干渉を引き起こし、米国でこの製品を使用するための FCC 認可が失効する可能性があります。

3. **注意:** 本機材はテストされ、FCC 規格 15 条に従い、Class B デジタル機器の制限に準拠していると宣言されています。これらの制限は、居住地での設置に際して有害な干渉からの適切な保護を提供するように考案されています。本機器は無線周波数エネルギーを生成および使用し、また、それを放射する可能性があります。指示に従って設置および使用しない場合は、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。また、特定の設置環境下では干渉が起きないという保証もありません。本機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こした場合（機器の電源を入れ直すことで判断できます）、以下のいずれかの方法で干渉を修正するようにしてください：

- 受信アンテナの向きを変えたり、移動する。
- 本製品と受信機の間隔を広げる。
- 受信機が接続されているコンセントとは別のコンセントに本製品を接続する。
- 販売者またはラジオ/テレビの専門従事者の指示を仰ぐ。

カナダ向け

ユーザー各位：

本 Class B デジタル機器は、カナダの ICES-003 に準拠しています。

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada. (上記と同内容のフランス語文)

RoHS 通知

Focusrite Audio Engineering Limitedは、有害物質の規制 (RoHS) の欧州 RoHS 指令 (RoHS) 2002/95/EC、ならびに RoHS に関連するカリフォルニア州法の以下のセクション、すなわち健康と安全に関する規約のセクション 25214.10、25214.10.2 および 58012、公共資源に関する規約のセクション 42475.2 に適合しています。

警告：イヤホンやヘッドフォンからの音圧レベルが高すぎると、聴力障害を引き起こす恐れがあります。

警告：本製品をクラスコンプライアント MIDI コントローラーに接続する際は、必ず USB ポートを使用してください。また、iTrack Dock の電源は必ず付属の AC アダプターを使用してください。

目次

安全に関する重要な注意事項.....	2
目次.....	5
概要	6
はじめに	6
製品の互換性	6
主な特徴	6
同梱物	7
iPad をドッキングする.....	7
電源に関する注意事項	7
さあ、始めましょう.....	8
アプリでのオーディオセットアップ	8
使用例	8
マイクおよび/または楽器のレコーディング.....	8
入力の選択	9
ダイレクトモニタリングの使用	9
ラウドスピーカーの接続.....	10
GarageBand と iTrack Dock の使用.....	11
USB MIDI ポートの使用	12
各部の名称と特徴	13
トップパネル	13
リアパネル.....	14
性能仕様	15
物理的特性と電気的特性.....	16
トラブルシューティング	16
著作権表示と法定通知	16

概要

はじめに

iTrack Dock のユーザーガイドをダウンロードいただきありがとうございます。本製品を楽しみにご購入されたことかと思えます。iTrack Dock は、Focusrite プロフェッショナル用デジタルオーディオインターフェースシリーズの 1 つであり、高品質 Focusrite アナログプリアンプを搭載しています。互換性のある iPad® との間で、高品質オーディオのルーティングを最大 96 kHz サンプルレート、24 ビットの解像度で実現するシンプルかつコンパクトなソリューションとなります。

本ユーザーガイドでは、iTrack Dock の操作上の機能を十分理解していただけるよう詳細に説明を行なっています。デジタルレコーディングが初めての方も、すでに経験豊富な方も、iTrack Dock のあらゆる可能性を完全に把握していただけるよう、全ての方にユーザーガイドを読み通して頂くことを推奨しています。ユーザーガイドに必要な情報が記載されていない場合、<http://www.focusrite.com/answerbase>をご覧ください。本サイトには、一般的なテクニカルサポートへの問い合わせ内容が掲載されています。

製品の互換性

iTrack Dock は、Lightning コネクタを備えた全ての Apple® iPad と互換性があります。現時点での該当モデルは以下の通りです：

- iPad（第 4 世代）
- iPad Air
- iPad mini
- Retina ディスプレイ搭載 iPad mini

特徴

iTrack Dock を使用することで、マイク、楽器、ラインレベルのオーディオ信号を対応 iPad に接続することができます。実際の入力部に接続された信号は、オーディオレコーディングアプリにルーティングすることが可能です。同じように、アプリのモニターや録音された出力は iTrack Dock の出力部から生成されます。

入力部に接続されたマイク、楽器などの音源を、オーディオレコーディングアプリで録音することも可能です。アプリの出力は本体の出力部にルーティングされるため、すでにレコーディングしたものを聞きながら演奏したり歌ったりすることで、追加トラックのオーバーダブを行えます。出力部は、アンプやスピーカー、パワードモニター、ヘッドフォン、アナログミキサーなどのアナログオーディオ機器に接続することができます。iTrack Dock のダイレクトモニター機能により、レコーディング時のレイテンシーが回避され、リアルタイムにサウンドを聞くことができます。

iTrack Dock の全ての入出力は録音と再生のためにレコーディングアプリへ/から直接ルーティングされますが、ニーズに合わせてアプリ内でルーティングを構成できます。

iTrack Dock には、105 dB のダイナミックレンジを誇る、名高い Focusrite アナログマイクプリアンプが搭載されています。48V のファンタム電源により、スタジオ品質のコンデンサーマイクロフォンをご使用いただけます。楽器専用の入力部は、高出力ピックアップのエレキギターやベースを直接接続できるようになっています。

iTrack Dock は基本的に 2 チャンネルデバイスであり、バランス/アンバランス出力を問わず、シンセ、ドラムマシーン、CD プレイヤーなどのステレオラインレベルのソースを接続できます。

iTrack Dock には USB MIDI ポートが備わっており、様々なタイプのクラスコンプライアント USB MIDI コントローラに接続できます。これにより、サンプルライブラリやシンセサイザーなどの他のミュージックアプリを、MIDI キーボードやパッドベースのコントローラーで演奏することができます。製品登録を行えば、Novation Launchkey および Launchpad アプリをダウンロードしてお使いいただけます。

同梱物

iTrack Dock には以下の付属品が含まれています：

- 12V DC ユニバーサル電源（PSU）、UK/EU/US 対応アダプタ付属
- 薄型 iPad デバイス用ラバーマット
- 第 4 世代 iPad 用ソフトラバーパッド x 4
- 'Getting Started Guide'（英語）
- 以下の Focusrite および Novation アプリをダウンロードするための製品登録カード：
 - Launchkey
 - Launchpad
 - Tape

iPad をドッキングする

iTrack Dock のベイは、フルサイズの iPad と iPad mini などの小型デバイスを両方接続できるように設計されています。ドックと iPad 間の電気接続は、ベイ左側の Lightning™ オスコネクタのみとなります。このコネクタは、スロットの上下に動かせるように設計されています。コネクタの接続位置を変えることができるため、様々なサイズの iPad に対応します。

また、iPad と iPad mini は厚みが異なっているため、薄型のデバイス（iPad mini、Retina ディスプレイ搭載 iPad mini、iPad Air）に対応するために、ゴム製のマットを用意しました。

iPad と iTrack Dock の接続はドッキングの凹部に置くだけで簡単にできます。必要に応じてマットを使用し、iPad 左側のソケットと Lightning コネクタを合わせてください。iPad のソケットをコネクタに差し込むときは、優しく差し込んでください。決して無理やり押しこまないでください。

第 4 世代 iPad をお使いの場合、同梱のソフトラバーパッドを 4 枚 iTrack Dock の表面に取り付けると、ぴったりとフィットさせることができます。

電源に関する注意事項

iTrack Dock への電源供給は、付属の DC 12V 電源ユニットを使用します。iPad をドッキングして iTrack Dock の電源を入れると、iTrack Dock から電源供給/充電が行われます。

注意：iPad からドックへの電源供給は行えません。外付け電源ユニットが接続され、リアパネルのスイッチがオンになっている場合のみドックは動作します。

iTrack Dock の USB MIDI ポートにクラスコンプライアント USB MIDI コントローラを接続し、コントローラに（電力制限に従って）電源を供給することも可能です。お使いの MIDI コントローラの説明書で電力要件をご確認ください。MIDI コントローラには、別途電源アダプタを必要とするものがあります。

さあ、始めましょう

アプリでのオーディオセットアップ

iTrack Dock は、現時点で以下を含む Core Audio iPad アプリに対応しています：

本体付属：

- Tape by Focusrite（当社純正レコーディングアプリ）
- Novation Launchpad（オーディオ出力のみ + USB MIDI）
- Novation Launchkey（オーディオ出力のみ + USB MIDI）

サードパーティアプリ：

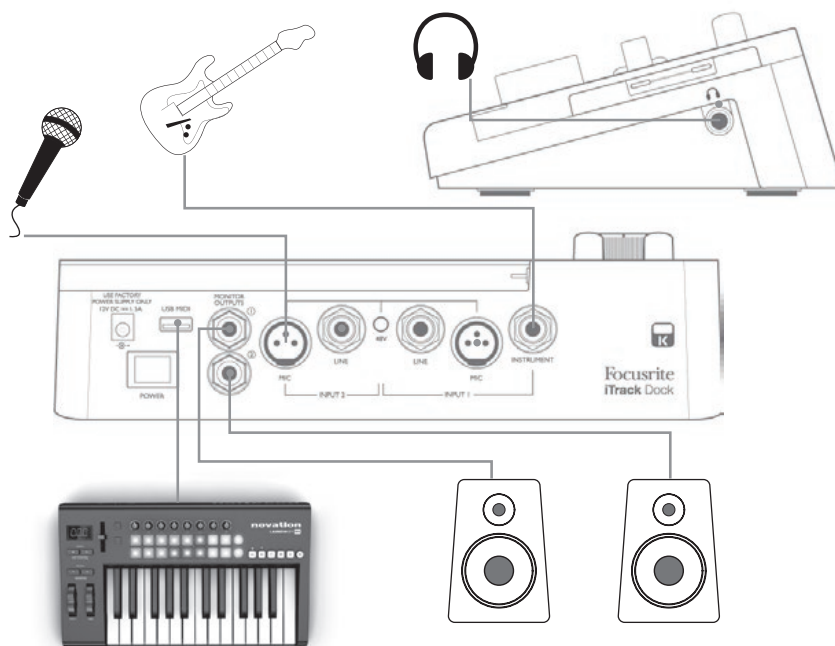
- Garageband
- Cubasis
- Auria
- Tracktor
- AudioBus

使用するレコーディングアプリに関わらず、iPad が正しくドッキングされると入力信号、つまりレコーディングを行う信号が iTrack Dock から出力されます。これは完全に自動で行われるため、コンピューターベースの DAW アプリとは異なり、セットアップの必要はありません。同じように、アプリの出力はただちに iTrack Dock から出力されます。

使用例

iTrack Dock があれば、様々なレコーディング/モニタリングアプリケーションで iPad を使用できます。一般的な構成例をいくつか以下に示します。

マイクおよび/または楽器のレコーディング



このセットアップでは、レコーディングアプリを使用する際の最も一般的な構成を示しています。この場合、ヘッドフォンまたはラウドスピーカーですでにレコーディングしたものの再生をモニタリングしながら、Input 1 からギターを、Input 2 からはボーカルをお好きなアプリにレコーディングできます。

リアパネルにはマイク、ラインレベルのソース（つまり他のオーディオ機器）、楽器の3つのソースのための入力部が備わっています。マイクは3ピン XLR 端子（マイクケーブルの一端に XLR プラグが備わっているはずです）を使って接続し、ラインレベルのソースと楽器は 1/4 インチ（6.35 mm）ジャックプラグを使用します。iTrack Dock には2つのチャンネルが備わっているため、例えばマイクと楽器を同時にレコーディングしたりといったことが可能です。2つのソースはレコーディングアプリ内のトラックへ個別にレコーディングされます。楽器（例ではギター）を接続する場合、通常の2極ギタージャックで INSTRUMENT 入力を使用します。LINE 入力は、外部オーディオミキサーのバランス出力などのソースを3極（TRS）ジャックで接続する際に適しています。

入力の選択

iTrack Dock は、マイク、ライン、楽器（Ch. 1）およびマイクとライン（Ch. 2）入力ソースを自動選択するため、ソースの切り替えスイッチはありません。リアパネルの LINE および INSTRUMENT ジャックソケットにはプラグの存在を検出するスイッチ端子が備わっており、検出に従って入力コネクタをルーティングします。

このため、以下のように入力選択の優先順位が適用されます：

- チャンネル 1 では、LINE 入力が MIC 入力に優先します。また、INSTRUMENT 入力はその2つに優先します。
- チャンネル 2 では、LINE 入力が MIC 入力に優先します。

具体的には、MIC 入力のいずれかにマイクを接続して録音を行いたい場合、対応する LINE 入力（いずれかのチャンネル）または INSTRUMENT ソケット（チャンネル 1 のみ）に何も接続されていないようにしなければなりません。

同じように、チャンネル 1 の LINE 入力に接続したラインレベルソースを録音したい場合、INSTRUMENT 入力に何も接続されていないようにしなければなりません（これはチャンネル 2 には適用されません。INSTRUMENT 入力が存在しないためです）。

ダイレクトモニタリングの使用

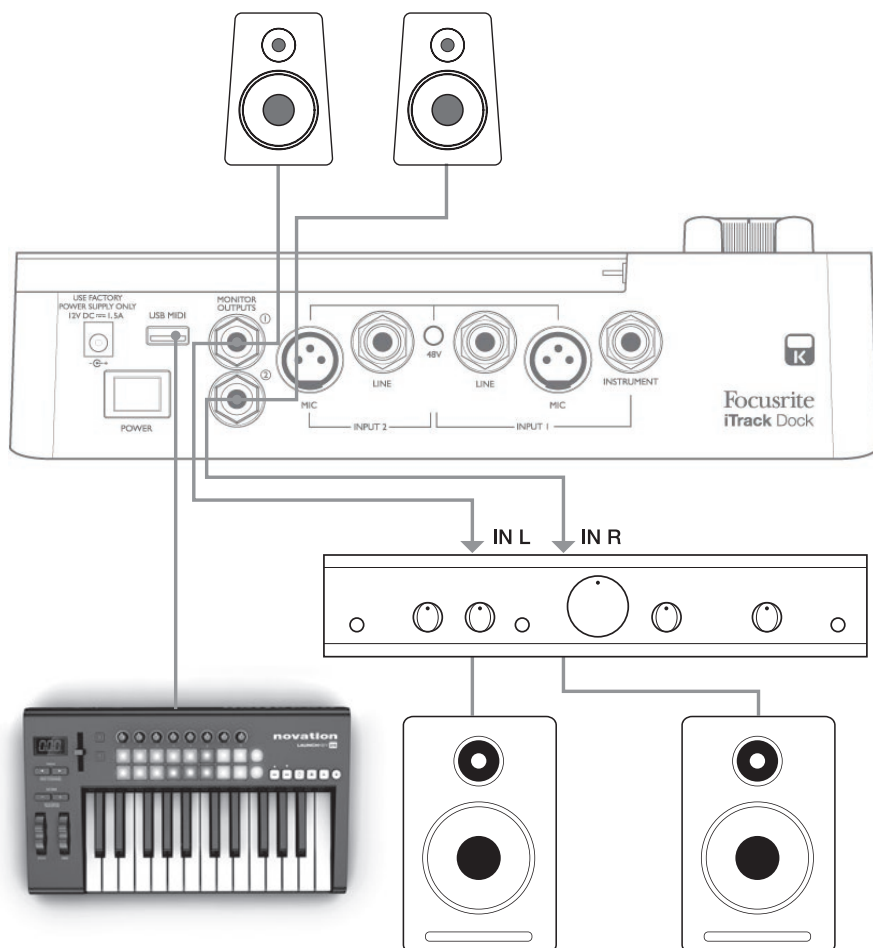
デジタルオーディオに関する話の中で「レイテンシー」という用語を聞くことがよくあります。上記のようなシンプルなレコーディングアプリケーションの場合、レイテンシーは、入力信号が iPad およびオーディオレコーディングアプリを通過する際にかかる時間を意味します。レイテンシーは、モニタリングしながらレコーディングを行いたい場合に障害となることがあります。

iTrack Dock には、この問題を完全に解決するために「ダイレクトモニタリング」オプションが搭載されています。**DIRECT MONITOR** を選択すると、iTrack Dock のモニターとヘッドフォン出力に入力信号が直接ルーティングされるため、レコーディングアプリの再生に合わせてゼロレイテンシーで、つまりリアルタイムに自身の音声を聞くことができます。レコーディングアプリへの入力信号は、この設定のいかなる影響も受けません。

ダイレクトモニタリングを ON に設定する際は、お使いのレコーディングアプリがその入力（現在レコーディング中のもの）を出力へルーティングするように設定されていないことを確認してください。設定されていれば、1つの信号がエコーのように遅れて聞こえるので、ご自身の音声が二回聞こえてしまいます。

ラウドスピーカーの接続

リアパネルの2つの MONITOR OUTPUTS (1/4 インチジャック) 出力では、モニタリングスピーカーを接続することができます。アンプ内蔵型のモニタースピーカー（一般的なコンピュタースピーカーなど）は、内部アンプが組み込まれているため、直接接続することが可能です。大型のパッシブラウドスピーカーには、別途ステレオアンプが必要です。この場合、リアパネルの出力部はアンプの入力部に接続する必要があります。



ライン出力コネクタは、3 極 (TRS) 1/4 インチ (6.35mm) ジャックソケットであり、バランス出力です。一般的な家庭用 (Hi-Fi) アンプと小型パワーモニターには、フォノ (RCA) ソケット上またはコンピュータに直接接続するための 3.5mm 3 極ジャックプラグ経由のいずれかにアンバランス入力があります。いずれの場合も、一端にジャックプラグの付いた適切な接続ケーブルを使用します。

プロフェッショナル用パワーアンプは一般的にバランス入力を備えています。

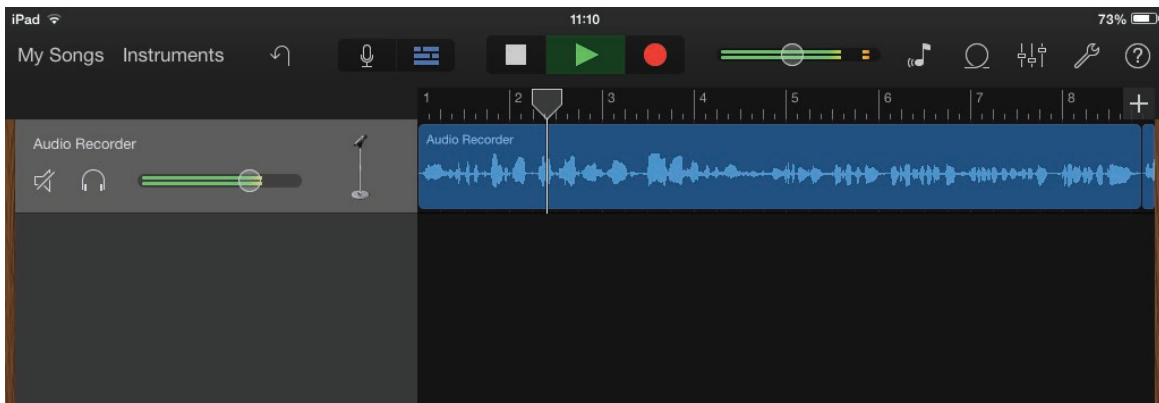
GarageBand と iTrack Dock の使用

GarageBand は iOS デバイスで使用する、最も人気のあるレコーディングアプリの 1 つです。アプリ一つで作曲を行える便利なツールで、内蔵されている様々なバーチャルインストゥルメントを使用して楽曲を制作することができます。そして iTrack Dock を使用することで、ボーカルや生演奏の楽器を加えることができます。

注意: 本ガイドでは GarageBand の操作手順について完全には言及されていないため、アプリケーションに付属されている完全なヘルプファイルを参照してください。

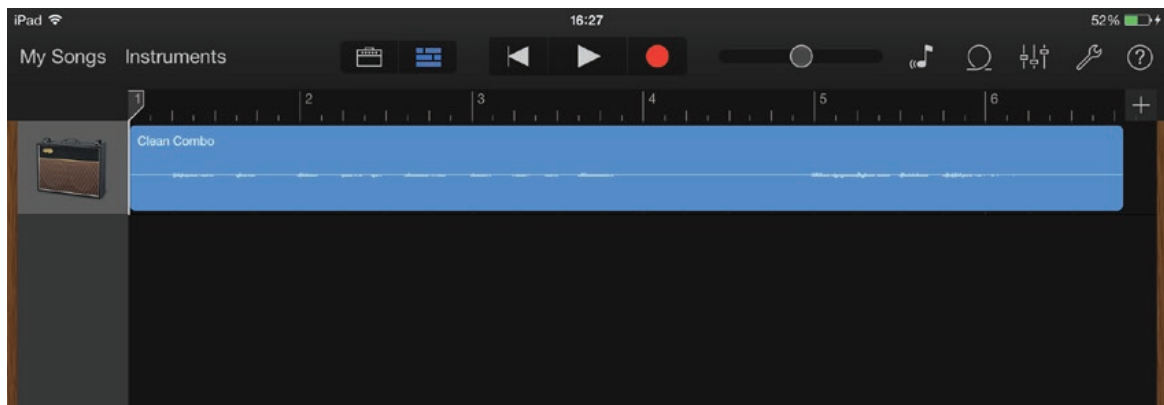
以下の手順に従って、iTrack Dock のマイク入力を GarageBand にルーティングします。

1. お使いのマイクを iTrack Dock の INPUT 1 または INPUT 2 のいずれかに接続します。
2. GarageBand 内で使用したいソングを開きます。
3. 画面左下の「+」ボタンをタップして **Audio Recorder** を選択し、ボーカルトラックを作成します。
4. ジャックプラグのアイコンをタップして、**入力設定** を開きます。
5. iTrack Dock で INPUT 1 を使用している場合は **左チャンネル** を、INPUT 2 を使用している場合は **右チャンネル** を選択して、マイク入力をボーカルトラックにルーティングします。
6. **モニタ** をオフにして、iTrack Dock で **Direct Monitor** (ページ 13、[5] 参照) を有効にします。iTrack Dock のダイレクトモニター機能に関する詳しい説明は、ページ 9 の「ダイレクトモニタリングの使用」を参照してください。
7. 使用する入力に合わせて **GAIN 01** または **GAIN 02** のいずれかを調整し、任意のレコーディングレベルに設定します。



ギターをレコーディングする場合は以下の手順に従ってください：

1. iTrack Dock の INPUT 1 の **INSTRUMENT** ソケットにギターを接続します。
2. GarageBand 内で使用したいソングを開きます。
3. 画面左下の「+」ボタンをタップして **Guitar Amp Track** を選択し、使用するアンプモデルを選択します。
4. ジャックプラグのアイコンをタップして、**入力設定** を開きます。
5. 左チャンネルを選択して楽器入力をギタートラックにルーティングします。
6. GarageBand 内の内蔵モニターまたは iTrack Dock の **DIRECT MONITOR** 機能のいずれかを使用できます。



その他のレコーディングアプリを使用する場合にも、似たような手順を踏む必要があります。詳細については、アプリケーションのヘルプファイルを確認してください。

USB MIDI ポートの使用

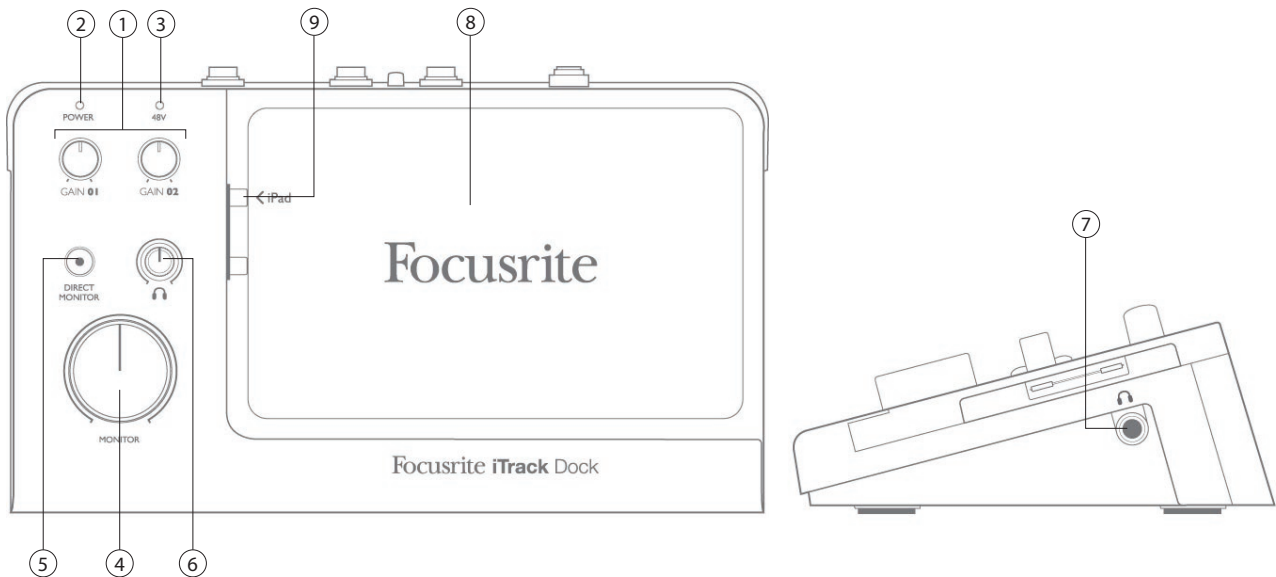
iTrack Dock のリアパネルには USB ポートが備わっています。この USB ポートをクラスコンプライアント MIDI コントローラーに接続して使用することで、iPad 上で様々な音楽アプリを制御することができます。また、MIDI コントローラーから生成されるサウンドを iPad 内でレコーディングアプリにルーティングすることももちろん可能です。さらに iTrack Dock を使用することで、レコーディングを行なっている生楽器やボーカルと一緒に、それらのサウンドをスピーカーやヘッドフォンからモニターできます。MIDI コントローラーを接続する前に、ユーザーガイドの「電源に関する注意事項」セクションを参照してください。

2つの Novation アプリ - Launchkey および Launchpad - は、通常通りの方法で Apple app ストアより入手できます。Launchkey はパワフルなソフトウェアシンセサイザーであり、Launchpad は Novation の代表的なコントローラー Launchpad のソフトウェアバージョンとなっており、サンプルをトリガーするために使用します。これらのアプリは iPad 本体から使用し制御を行うことができますが、外部ハードウェアキーボードまたはパッドコントローラーを使用することで、操作性がより優れたものとなり、簡単かつフレキシブルに使用することができます。


iTrack Dock が対応している MIDI コントローラーの最新の一覧は、Focusrite ウェブサイト www.focusrite.com より確認してください。

各部の名称と特徴

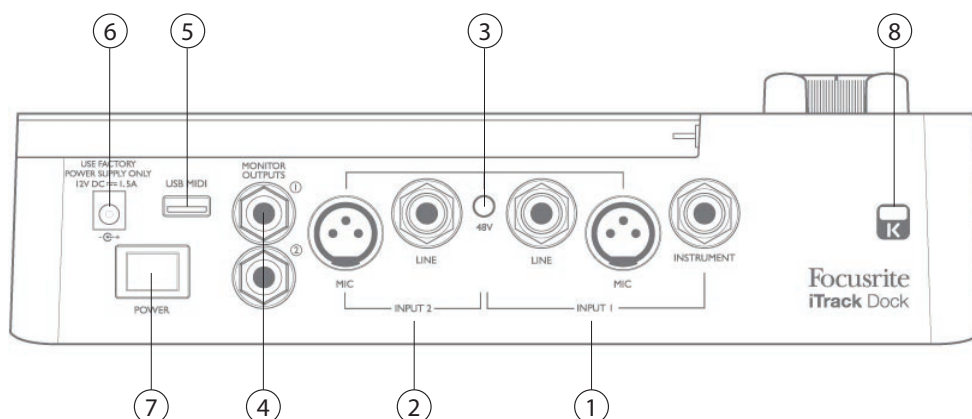
トップパネル



トップパネルには、入力ゲインとモニタリングコントロールが備わっています。

1. **GAIN 01** および **GAIN 02** では、**INPUT 1** と **INPUT 2** に接続される入力信号の入力ゲインをそれぞれ調整します。ゲインコントロールには信号レベルを二色で示す同心円状の LED リングが備わっており、緑色の場合には最低-24 dBFS（「信号あり」）の入力レベルを示し、信号レベルが 0 dBFS に到達した場合リングが赤く点灯し（1 秒間そのままとなり）ます。
2. **POWER LED** - iTrack Dock が ON の場合緑色に点灯します（リアパネルの [7] を参照してください）。iPad を接続した状態で本体のスイッチを ON にした場合や、本体のスイッチが ON の状態で iPad を接続すると、LED が数秒間点滅し、本体と iPad のデータ通信が確立されたことを示します。LED の点滅が停止することで、本体の使用準備が整ったことを示します。LED は、iPad の接続が解除された際に点滅するほか、USB MIDI 機器を接続したり解除した場合（異なるパターンで）点滅します。
3. **48V LED** - ファンタム電源を ON にした場合赤く点灯します（リアパネルの [3] を参照してください）。
4. **MONITOR** - メインステレオモニター出力レベルコントロール - リアパネルの MONITOR OUTPUTS コネクタの出力レベルを設定します。
5. **DIRECT MONITOR** - ボタンを押して選択すると内蔵の赤色 LED が点灯し、レイテンシー（遅延）無く入力信号を入力部から直接モニタリングすることができます。OFF に設定した場合、全てのモニタリングが iPad レコーディングアプリを経由し、ライブ信号に遅延（レイテンシー）が生じます。
6.  ヘッドフォンレベル - サイドパネルのステレオヘッドフォン出力の出力レベルを調整します。
7. (サイドパネル) **ヘッドフォンソケット** - 1/4 インチ TRS 出力ジャックにステレオヘッドフォンを接続します。
8. iPad ドッキングエリア
9. Lightning コネクタ

リアパネル



1. **INPUT 1** - 3つのコネクタ：**MIC** - マイク用 XLR ソケット。**LINE** - バランス（アンバランス）ラインレベルソース接続用 1/4 インチ（6.35 mm）TRS ジャックソケット。**INSTRUMENT** - ギターなどの電子楽器接続用 1/4 インチ（6.35 mm）TS ジャックソケット。
2. **INPUT 2** - [1]と同様ですが、コネクタは **MIC** および **LINE** の 2 種類のみとなっています。
3. **48V** - マイク入力用ファンタム電源スイッチ - 両方の入力の XLR ソケットの+48V ファンタム電源を有効にします。コンデンサ（キャパシタ）マイクに電源を供給するために使用します。**MIC** 入力にその他のタイプの信号ソースを接続する場合、ファンタム電源を ON にしないでください。
4. **MONITOR OUTPUTS 1** および **2** - 2 x 1/4 インチ TRS ジャックソケット。最大出力レベル+10 dBu（バランス）。
5. **USB MIDI** ポート - タイプ A コネクタ。ハードウェアのクラスコンプライアント MIDI コントローラ（例：Novation Launchkey Mini）を接続して、Launchkey や Launchpad などの iPad アプリを制御します。また、5V DC（最大 500 mA）電源を供給します。多くの MIDI コントローラーは、この方法で電源を得ることができます（コントローラーの電源要件を確認してください）。
6. DC 入力コネクタ - 付属のユニバーサル電源（PSU）をこちらに差し込みます。
7. **POWER** - オン/オフ スイッチ。
8. **ケンジントンセキュリティロック** - 必要に応じてお使いの iTrack Dock を固定します。

性能仕様

ADC ダイナミックレンジ	105dB 「A 特性」 (全入力)。コンバーターチップセット A/D ダイナミックレンジ 114dB
DAC ダイナミックレンジ	104dB 「A 特性」 (全入力)。コンバーターチップセット D/A ダイナミックレンジ 114dB
対応サンプルレート	44.1 kHz、48 kHz、96 kHz : 24 bit
クロックソース	内蔵クロックのみ
マイク入力 (チャンネル 1 & 2)	
周波数特性	20 Hz – 20 kHz +/-0.2 dB (最小ゲイン)
ゲインレンジ	-4 dB ~ +46 dB (dBFS / dBu) +/-1 dB
最大入力レベル	>+4 dBu
THD+N	<-99 dB (最小ゲイン、-1 dBFS 入力 20 Hz/20 kHz バンドパスフィルタ)
ノイズ EIN	<-125 dBu CCIR-RMS (最大ゲインで測定、150 Ω 終端)
ライン入力 (チャンネル 1 & 2)	
周波数特性	20 Hz – 20 kHz +/-0.2 dB (最小ゲイン)
ゲインレンジ	-22 dB ~ +28 dB (dBFS / dBu) +/-1 dB
最大入力レベル	>+21 dBu (@ 1% THD+N)
THD+N	<-98 dB (最小ゲイン、-1 dBFS 出力 20 Hz/20 kHz バンドパスフィルタ)
ノイズ (NiPoS)	<-104 dBFS CCIR-RMS (最小ゲイン 50 Ω 終端)
楽器入力 (チャンネル 1 のみ)	
周波数特性	20 Hz – 20 kHz +/-0.2 dB (最小ゲイン)
ゲインレンジ	-16 dB ~ +34 dB (dBFS / dBu) +/-1 dB
最大入力レベル	>+14 dBu
THD+N	<-90 dB (最小ゲイン、-1 dB 以下最大入力レベル 20 Hz/20 kHz バンドパスフィルタ)
ノイズ	<-104 dB CCIR-RMS (最小ゲイン)
モニター出力 1 & 2	
周波数特性	20 Hz ~ 20 kHz +/-0.2 dB
公称出力レベル (0 dBFS)	>+10 dBu バランス、>+4 dBu アンバランス
THD+N	<-100 dB バランス (0 dBFS 入力、22 Hz/20 kHz バンドパスフィルタ)

物理的特性と電気的特性

入力 1 & 2	
コネクタ	リアパネル: XLR x 2 (MIC) 1/4 インチ TRS ジャック x 2 (LINE) 1/4 インチ TS ジャック x 1 (INST)
Mic/Line 切替	自動
ライン/楽器切替 (チャンネル 1 のみ)	自動
ファンタム電源	入力 1 & 2 用共有 +48 V ファンタム電源スイッチ
出力	
モニター出力	リアパネルのバランス 1/4 インチ TRS ジャック x 2
ステレオヘッドフォン出力	サイドパネルの 1/4 インチ TRS ジャック
メイン出力レベルコントロール	トップパネル上
ヘッドフォンレベルコントロール	
その他の入出力	
USB	USB MIDI 2.0 タイプ A コネクタ x 1
トップパネルのインジケータ	
電源/データ通信	緑色の LED
ファンタム電源	赤色の LED
ゲインコントロール	色で示す LED リング 緑色 = 信号あり (-24 dBFS) 赤色 = 信号オーバーロード (約 1 秒のピークがホールドされた場合 0 dBFS)
重量および寸法	
幅 x 高さ x 奥行	280 mm x 64 mm x 168 mm
重量	0.7 kg

トラブルシューティング

トラブルシューティングに関する質問がある場合は Focusrite Answerbase にアクセスしてください。

<http://www.focusrite.com/answerbase> では、よくある操作上の問題についての補足情報が記載されています。

著作権表示と法定通知

Focusrite は登録商標であり、iTrack Dock は Focusrite Audio Engineering Limited の商標です。

その他すべての商標および商品名はそれらの個別の所有者の財産です。

2014 © Focusrite Audio Engineering Limited. All rights reserved.

iPad、iPad mini、iPad Air、Retina ディスプレイ搭載 iPad mini、GarageBand、Lightning は米国および他の国で登録されている Apple Inc. の登録商標です。